



〈公開〉 生と死の物語Ⅱ

死生学に取り組み続けていくと視野が広がり、次第に多くの人々の様々な問題が見えてくることに驚かされます。どれほど生と死の現場に身を置くことになるかは人によって異なりますが、誰もが体験に応じて読み解ける生と死の物語があります。今年度の連続講座とシンポジウムも、物語を深める機会としていただけますことを願ってご参加をお待ちしております。

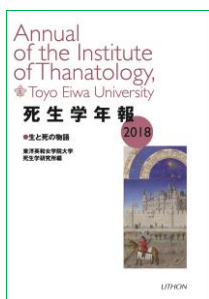
2018 年 4 月

東洋英和女学院大学死生学研究所長 渡辺和子

- 会場 東洋英和女学院大学大学院 201 教室
六本木駅（日比谷線徒歩 10 分）麻布十番駅（大江戸線徒歩 5 分、南北線徒歩 7 分）
- 参加費 連続講座各回 500 円・シンポジウム 1,000 円
(本学院在校生・教職員・生涯学習講座受講者は全回無料)
- 事前申込不要 □当日先着順 100 名様
- 問合せ先 東洋英和女学院大学死生学研究所
〒106-8507 東京都港区六本木 5-14-40 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

日程 (土曜日) 30 分前から受付開始			発表者	所属	題目
4 月 21 日	14:40~ 16:10	第 1 回 連続講座	丸山空大	東京外国語大学 特任講師	ホロコーストを語ること—民族と宗教の記憶を紡ぐ
	16:20~ 17:50	第 2 回 連続講座	黒川知文	愛知教育大学 名誉教授	キリスト教徒は死後の世界についてどのように信じているのでしょうか
6 月 23 日	14:40~ 16:10	第 3 回 連続講座	渡辺和子	本学人間科学部教授	生と死の物語の深化と発展 —『ギルガメシュ叙事詩』を中心に—
	16:20~ 17:50	第 4 回 連続講座	古井戸秀夫	東京大学名誉教授	熊谷次郎直実の発心譚
7 月 21 日	14:40~ 16:10	第 5 回 連続講座	尾崎博美	本学人間科学部 准教授	命の価値を教える・学ぶ実践を問う —「わかる」ことの多層性に基づいて—
	16:20~ 17:50	第 6 回 連続講座	比留間亮平	本学非常勤講師	生まれ変わりとしてのルネサンス —歴史家ミシュレの死生観とルネサンス概念の誕生
10 月 6 日	14:40~ 17:50	シンポジウム 「生と死」研究会第 17 回例会 看取りの実践Ⅱ	神 仁	臨床仏教研究所 上席研究員	臨床仏教師の役割 —仏教チャプレンとしての支援と看取り—
			白木原嘉彦	天理教本芝大教会 会長	天理教の死生観と看取り
			サック・キャロル	アメリカ福音ルーテル 教会宣教師	音楽による祈り (※発題者はリラ・プレカリア[祈りのたて琴]創始者)
2019 年 1 月 12 日	14:40~ 16:10	第 7 回 連続講座	奥山礼子	本学国際社会学部 教授	ヴァージニア・ウルフの創作における死の問題
	16:20~ 17:50	第 8 回 連続講座	奥野滋子	順天堂大学医学部 緩和医療学研究室	高齢多死社会の看取り現場からの報告 —人生の終い方を考える—
2 月 16 日	14:40~ 16:10	第 9 回 連続講座	大林雅之	本学人間科学部教授	バイオエシックスは「いのち」の何に答えたのか
	16:20~ 17:50	第 10 回 連続講座	木村利人 村岡 潔	早稲田大学名誉教授 佛教大学教授	〈ラウンドテーブル〉生命倫理学のゆくえ コーディネーター:大林雅之(本学人間科学部教授)

〈2018 年 4 月 1 日作成〉



東洋英和女学院大学死生学研究所編 (リトン刊)

『死生学年報 2018 生と死の物語』

定価 2,500 円 + 税 一般書店でご注文・ご購入いただけます。